

コード	501010302
記入日	H27.11.6

課コード	113
課名	観光商工課
課長名	安永 佳秀
担当者	安永 諒紀

作成年度	平成 27 年度
------	----------

新規事業評価表【事前評価】

評価対象事業名称	船崎海水浴場改修整備事業
----------	--------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 28 年度 ～ 平成 28 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	にぎわいを創る「交流のしま」	款コード	7
施策コード	501	施策名称	魅せる観光交流のしまづくり	項コード	1
基本事業コード	50101	基本事業名称	にぎわいを生む観光の振興	目コード	3
事務事業コード	5010103	事務事業名称	観光施設管理事業	細目コード	890
関連計画	法令・条例規則等				

計画（PLAN）

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標			
（対象1） 町民	（対象指標1） 20,780人（H27.4.1現在）			
（対象2） 海水浴場利用者数	（対象指標2） 3,274人（H27実績）			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標			
・海水浴客誘致のため施設の整備等を行う。 →休憩舎の天井・壁面等補修 1.0式（67.86㎡） →駐車場フェンス 撤去(既存物)及び設置 1.0式 （擬木フェンス16.5m、PCフェンス54m）	（活動指標名称）	（活動指標数値）	（指標積算根拠）	（目標達成年度）
	① 休憩舎補修	1.0式		平成28年度
	② 駐車場フェンス改修	1.0式		平成28年度
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標			
・当該施設は整備後10年以上が経過しており、休憩舎壁面の剥離・駐車場フェンスの腐食等、破損・劣化箇所が多く目立つ。また、フェンスに関しては、人力で動くほど支柱の腐食が酷く、車両及び利用者の転落の危険性がある。また、平成28年度の世界遺産登録時期が夏季ということで海水浴場利用者の増加も予想され、受入体制整備の一環として整備し、交流人口の拡大及び地域活性化を図る。	（成果指標名称）	（成果指標数値）	（指標積算根拠）	（目標達成年度）
	① 利用者の安全確保	-	-	平成28年度
	②			

実施（DO）

	単位	全体計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度以降
		H 28 ～ H 28							
活動指標	① 式	1	1						
	② 式	1	1						
成果指標	① 人	3,274	3,274						
	②								
総事業費 C（A+B）	千円	2,900	2,900						
直接事業費 A	千円	2,200	2,200						
人件費 B	千円	700	700						
内 訳	従事職員数	人	0.1	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の財 源 内 訳	国補助金	千円							
	県補助金	千円							
	起 債	千円							
	そ の 他	千円							
	一般財源	千円	2,900	2,900					

評価 (CHECK)

評価項目		内 容
1 次 評 価	・事業の緊急性・必要性はありますか。	休憩舎に関しては経年劣化による壁等の剥離が激しく、フェンスに関しては人力で動くほど支柱が腐食しており、転落の危険性があるため、早急の事業着手が必要であり、夏季海水浴場開設前の事業完了が望まれる。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	利用者の安全確保のためにも整備が必要であり、適性である。
	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	平成28年度の世界遺産登録時期が夏季の登録が予想され、同時に海水浴場利用者の増加も見込まれ、経済効果は期待できるものがあり、受入体制整備の一環として事業を行う必要がある。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	当該施設は整備後10年以上が経過しており、破損・劣化箇所が多く、利用者の安全面を考慮すると影響はある。
	・事業費を削減できませんか。（費用対効果）	最小限の事業計画のため削減できない。
	・受益者負担は適正ですか。	当該施設の管理者である町が行うものであり、適性である。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	類似事業はない。

2次評価	本事業は、住民及び観光客の安全を確保し、安心して海水浴を楽しんでもらうために必要であると判断するが、平成28年度に町施設全体の公共施設総合管理計画を策定し、総合的かつ計画的な管理を推進していく。当該施設についても対象となるため、現状把握、課題整理など、今後の施設のあり方について十分に調査検討し、効果的に事業を実施すること。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

事業の 方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			計画どおりに事業を実施する				次年度以降に計画どおり実施する
		●		事業内容を見直して事業を実施する				次年度以降に計画を見直して実施する
				実施期間を見直して事業を実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する
				事業費を減額して事業を実施する				当分の間は実施しない
				類似事業と整理統合して実施する				

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。